

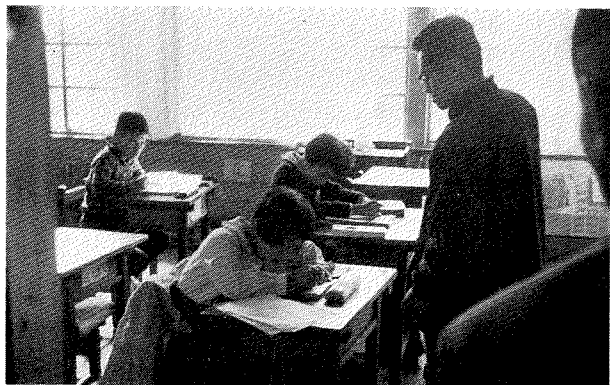
会

報

写真特集

No. 10

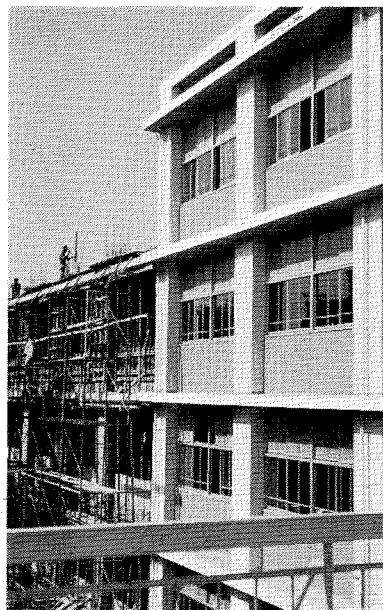
静岡県公立高等学校PTA会長連絡会



静岡県立沼津盲学校

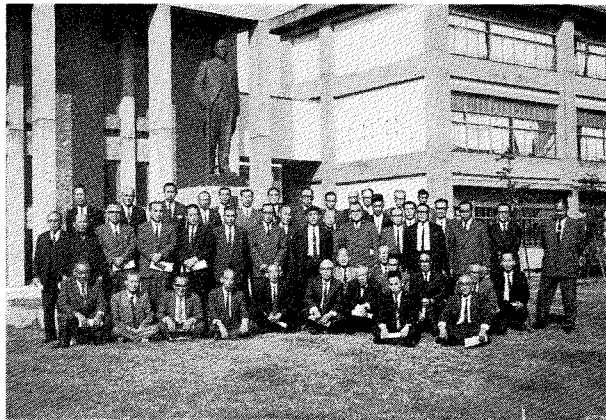
点字学習 校長 西原常雄
PTA会長 鈴木行雄
生徒数 114

静岡県立沼津西高等学校



建設進む沼津西高校(左)

校長・塩沢喜彦 PTA会長・秋山喜久太郎 生徒数 1230
〈千本松原汐風吹きて……と校歌にうたわれているように、景勝の地に創立60余年の伝統にかがやく女子教育の殿堂、沼津西高校のスマートな校舎に続々増築の槌のひびきが活気をおびている。教育目標9項目の中に社会教育を大きくとりあげていることは、尊い着眼である。〉



東部から開始した学校視察は初めての試みであったが県高P連の協力基盤を培う上に極めて有意義であった。写真は11月1日吉原工業高校前における記念撮影。

高校視察の成果

副会長

中野東三



互いにまず知りあうということが相互理解をふかめ、連絡組織の成果をあげるためには、先決条件であります。本会においては、初めての施策として本年十一月、県内高校の合同視察を実施しましたところ、各地区とも多数の参加を得て、有意義な成果を得たことは、まことによろこばしいことでもあります。つづいて行われた十二月の研修会の盛りあがりも、この合同視察が非常に役立ったように思われます。県内高校の実態は、校種別、地区別にそれぞれ特色をもち、また、格差も感じられますが、このような視察は、今後、毎年継続してやがて全域に及び、たがいに採長補短、相提携して、本県高校教育の振興を期したいものとねがっております。視察対象校となられた学校当局のお世話に對しては、衷心敬意を表し、厚く感謝する次第であります。このたびの第一回視察については、記録写真を編集し、会報特集号としてお送りすることにいたしましたので、ご高覧いただくようお願いいたします。

高 校 東部地区

11月1日

静岡県立吉原高等学校

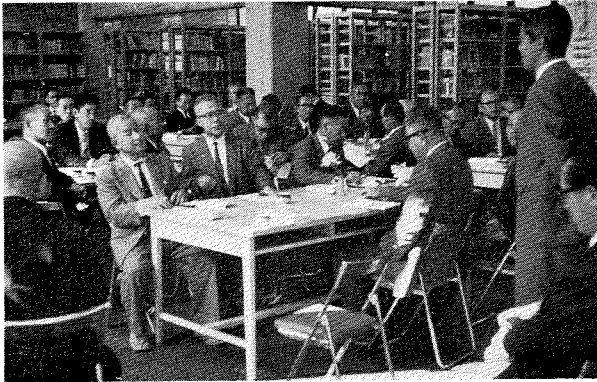
校長・浦辺秀夫 PTA会長・中川国兵 生徒数 1377

生活館内部(写真左)



〈進学準備に忙しく、とかくおろそかになりがちな高校生の生活指導がつよく要望されている折から、県下にさがかけて24時間の生活実践を通じ、しつけを行っている吉原高校の生活館はその和室にみる家庭的雰囲気によって非常に成果をあげている。今後の高校教育に大きな示唆をなげかけるものである。〉

静岡県立吉原工業高等学校



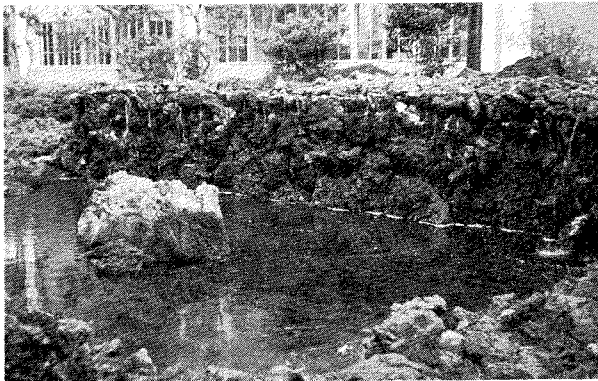
説明をきく一行

〈大昭和製紙社長齋藤知一郎氏が寄付したという立派な図書室は、齋藤記念館とともに、ここに学ぶ生徒に有形無形の力づよいはげましている。この部屋で鈴木校長から説明をきく視察団一行も感慨深げである。〉

工場教室

校長・鈴木清見 PTA会長・中野東三 生徒数 922
 〈富士、吉原の新しい工業地帯に、工業立国の原動力をなす人材養成の要望により、昭和32年4月創立された。素朴にして意志堅固な工業技術者の養成に専念しているが、その発展には特に地元の実業家の力づよい協力が物心両面に大きな支えとなっていることを感じられた。〉

静岡県立富士宮農業高等学校

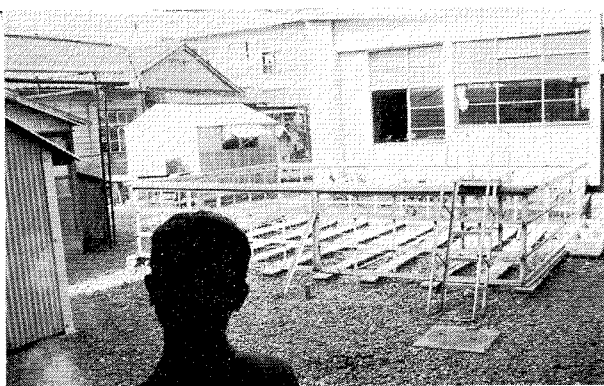


造園「白糸の滝」

〈名勝「白糸の滝」を校地に移して見たいものと火山岩をみんなで集め、夏休みに汗みどろになって、職員生徒が協力してつくりあげたという造園「白糸の滝」。その実現が郷土愛に立つ師弟共励工夫の成果とみて、ほほえましい感激を覚えた次第である。〉

温室

校長・三沢久保 PTA会長・植松義忠 生徒数 672
 〈富士岳麓に創立70年の歴史と伝統をもつ富士宮農業高校は、農村中堅人材養成につとめ、目下校地の拡張、設備の充実にPTA一体となつてとりくんでいる。ここで交通安全教育の熱心な研究と実践の成果にも着目したい。〉



プール代りに苦心のあと(左)

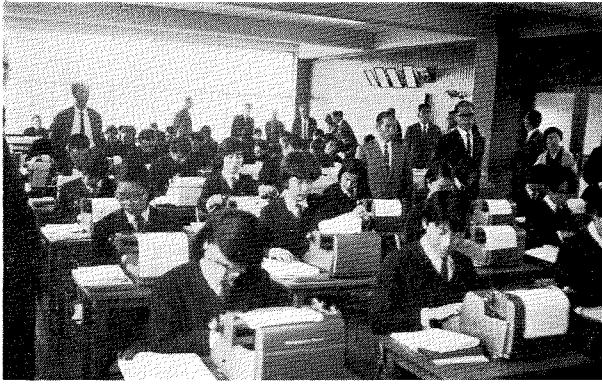
〈朝日新聞に「教育の谷間、特殊教育の実態、ナイナイづくし何とかして」の見出しで、特集記事(11月29日)がのせられたことがあるが、水泳こそ全身運動、治療訓練に欠かせないものとしてプール代りに夏はビニール帆布で実施したという苦心の跡跡をみてその感慨をふかくさせられた。〉

静岡県立静岡養護学校

真剣な学習

校長・上田正年 PTA会長・佐野賀智男 生徒数 183
 〈文集「歩きたい」の表題にもうかがわれるように、恵まれた普通高校生には思いもよらぬ苦難を克服しながらの学習を目的とみて、視察団一同の同情をひいた。〉

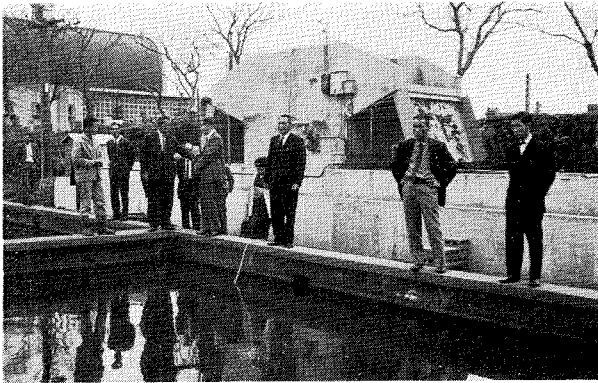




商業計算機実習の状況 静岡

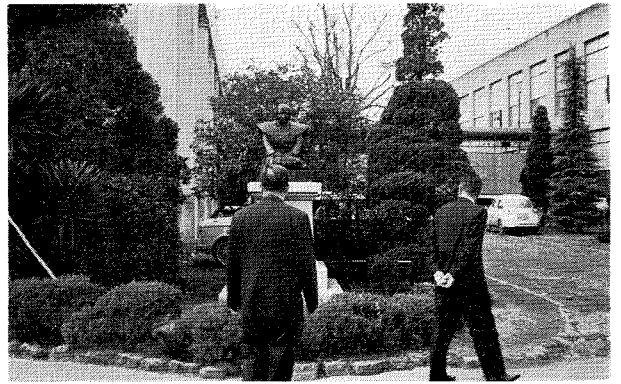
〈実務の近代化に装備された最新式事務器を手早く思いのままに駆使しての商業実習の実況は、PTAの視察団の目をみはらせるものがあった。〉

静岡県立焼津水産高等学校



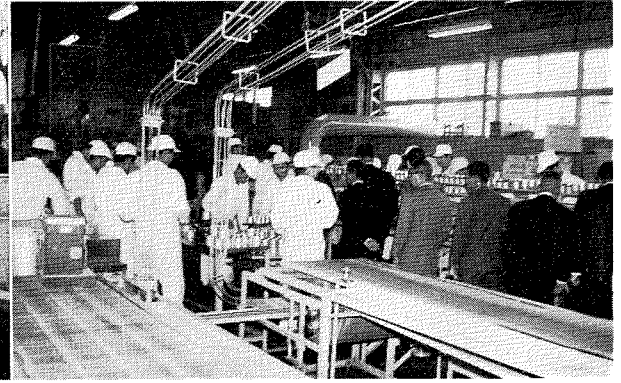
養魚池

〈養魚もこの学校の重要な部門である。酸素補給による養鰻実習施設が背後に見えるが、科学する水産業として注目される。近く、すばらしい実習船が完成されるのでこの次の視察には、漁業実習船乗組を試みたらなどと話しあわれた。〉



前庭 校長・西脇 仁 PTA会長・海野一郎 生徒数 1330

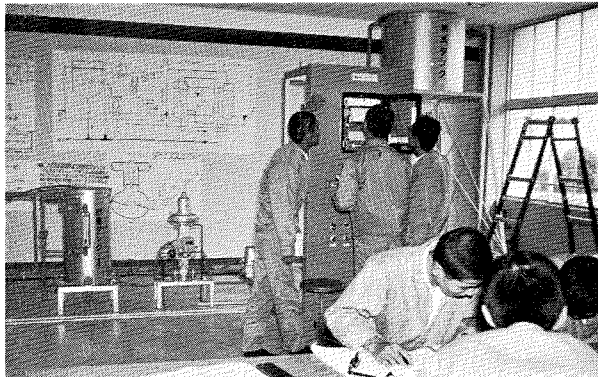
〈創立後約70年の伝統にかがやく静岡の前庭に二宮尊徳像を仰ぎ感無量であった。人づくりを根幹とし、生徒会に、インターアクトクラブに、PTA運営に、活発な活動をつづけている。〉



実習工場

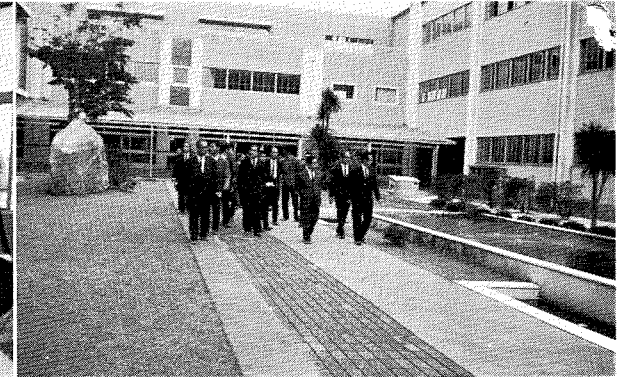
校長・須田俊雄 PTA会長・富田金五郎 生徒数 812
 〈県下唯一の水産育成の拠点である。水産日本に雄飛する多くの人材は、この学校から輩出される。躍進する缶詰製造実習も水産校なくてはと認識をふかくした。〉

静岡県立島田工業高等学校



水圧計にみ入る若き技術者

〈各部門別に完備された実習施設は、工場の近代化設備をうかがうに足る立派な設備である。新設校だけに伝統のつみあげはないが、これから築いてゆく希望と若々しい意欲にみちみちていた。〉



中庭を行く

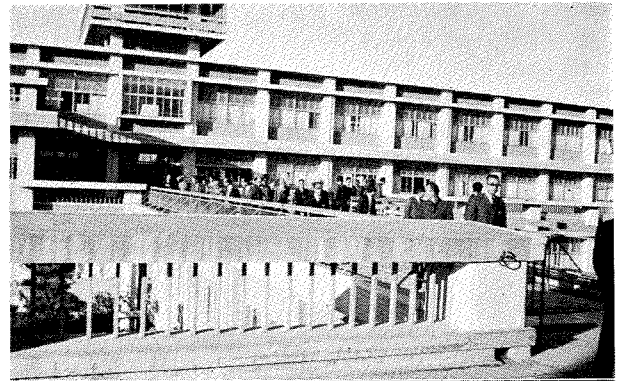
校長・山下精寿 PTA会長・松浦 猛 生徒数 986
 〈工業立国の線に沿い県政の重点総合開発の一翼をになう工業技術者養成をめざし県が地元市町村とともに非常な力を入れ、昭和38年4月、最新式近代装備を誇る新設高校の偉容が出現、素朴な住民の目をみはらせている。〉



式守校長より説明をきく

校長・式守富司 PTA会長・徳田由太郎 生徒数 1423
 <創立以来73年の古い歴史にかがやく浜松北校は、普通
 高校としては東部沼津東・中部静岡とともに、西部では
 長い伝統をもつ学校である。浜松北通信にみる学校、家
 庭の連絡は相互理解と発展の上に成果をあげ、特色ある
 継続的施策として推奨すべきものと感じた次第である。>

静岡県立浜松工業高等学校



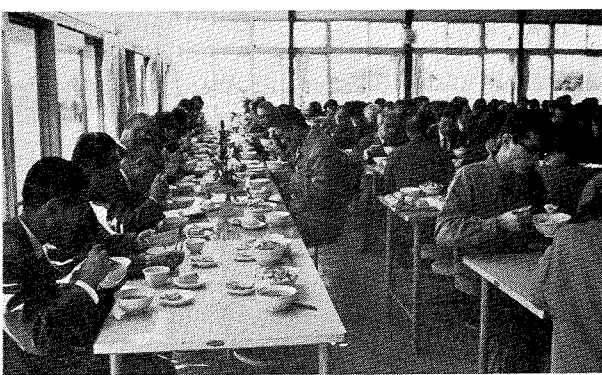
浜松工業高校の偉観



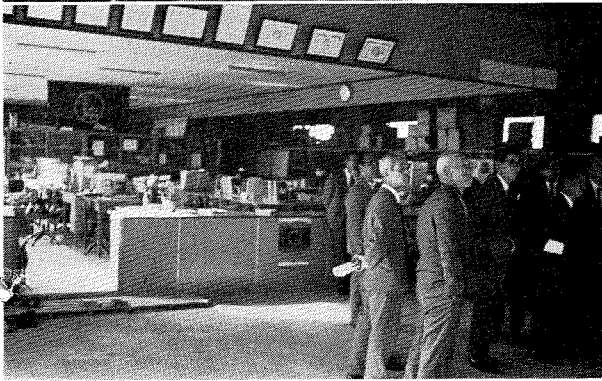
完備した視聴覚室

校長・佐藤盛一 PTA会長・竹内一義 生徒数 1379
 <浜松工業高校は、工業高校としては、その規模におい
 て我国有数の偉観をなすといわれている。今日の大をき
 ずくまでの学校当局者とPTA並に卒業生の涙ぐましい
 協力の成果に注目したい。このすばらしい物的環境の中
 で他よりの雑事にわずらわされず、学校独自の団結で教
 育一途に邁進されているときく。> (写真上)
 <工場教室の施設とともに、この学校の視聴覚室は完備
 されたものである。特にこの映写機の性能はすばらしい。
 このような施設を充分活用して続々巣立ってゆく技術革
 新への有能な卒業生に期待するものが多い。> (写真下)

生徒たちと楽しい会食



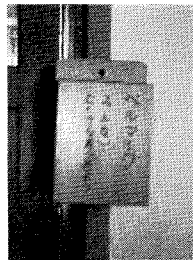
農協講習室



校長・木下重一 PTA会長・足立菊雄 生徒数 464
 <農村が農業の近代化促進のため農業経営の後継者を養
 成するため、国と県とが5億の巨費をかけて新設したと
 いう20万平方軒の広大な農業経営高校の出現は、本県
 の農業教育の上に注目に値する施策である。> (写真下)
 <ここは農業経営科(男子)383名、生活科(女子)40名
 合宿全寮制をしていることが一大特色である。写真は
 視察当日、生徒とともに大食堂で平常の給食調理で会食
 したが実に和気あいあい溢れる楽しさを物心ともに味わ
 い、忘れがたい思い出となった。> (写真上)

静岡県立浜松聾学校

校長・楯野三郎 PTA会長・矢部 清 生徒数 171
 <聞えぬ耳、口のうごきを目で聞く苦し。聾学校は高校
 生に至るまで互に手まねで会話している。五体完全なこ
 のいかに幸せかを県下9万の高校生に自覚させたいも
 のとつくづく感じた。> (写真下)
 <県下13校の高校視察も浜松聾
 学校を最後に無事終ろうとして廊
 下に出た折、ふと目についたのが
 写真のベルマーク箱。みんなでた
 くさんあつめようと善意の呼びか
 けにこたえて県高P連でも何とか
 して特殊校教育設備助成に物心両
 面の支援、実践の機運を高めた
 いとの感を更に深くさせられた。>



善意の呼びかけベルマーク

補聴器で

